

埼玉県プラスチック資源の持続可能な利用促進プラットフォーム
令和5年度第2回総会 取り組み紹介資料 2024年2月14日

コンソーシアムによる サーキュラーエコノミーの実現へ

株式会社 木下フレンズ
営業部 西 慎太郎

日本全国の産業廃棄物

約 4億トン

約 1万9000施設

80% 中間処理

私たち中間処理が資源化のカギを担っています

廃棄物から資源へ

中間処理施設搬入直後の現実

選別されていない
混合状態の
廃棄物

処分が難しい危険物が
異物として混入
する事例が多い





木下フレンド 会社概要

売上順位
廃棄物関連11,000社中
175位

2023/5時点
大手信用調査会社調べ



社名 株式会社 木下フレンド

代表 代表取締役社長 木下公次

設立 1972年4月28日

事業内容 廃棄物収集運搬および中間処理 等

年間2万1千トンの取扱い高（2022年度）

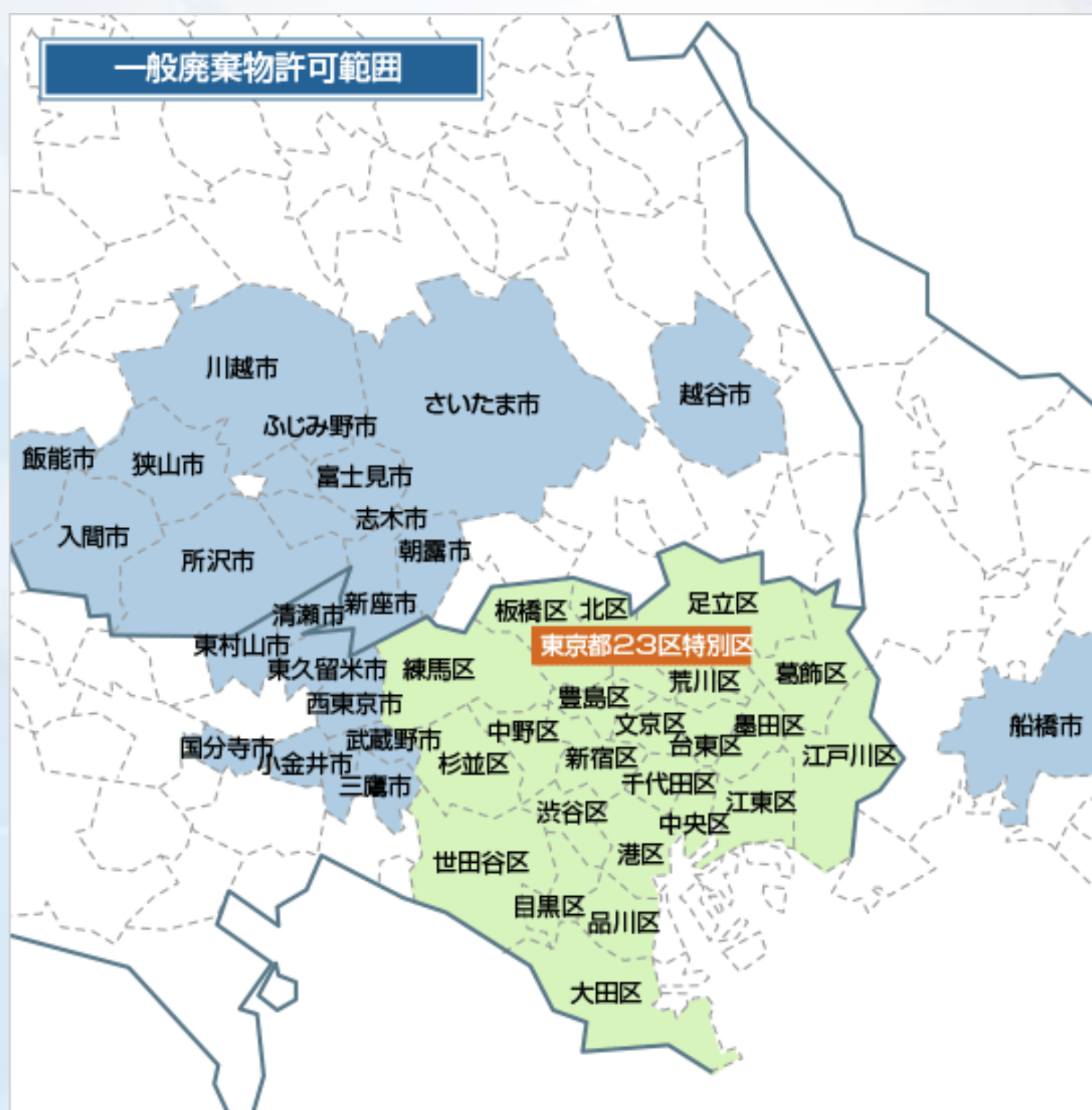
約5,000事業所と契約し、車両台数約200台で東京23区、多摩地域、埼玉県西部を中心に回収しています。中間処理の受入量は2万1千トン/年、内プラスチックが80%を占めています。

木下フレンド 会社概要

一般廃棄物 収集運搬業	東京都：23区全域と周辺8市 埼玉県：所沢市周辺全12市
産業廃棄物 収集運搬業	東京都、埼玉県など関東全域と周辺5県
産業廃棄物 処分業	埼玉県（木下フレンド） 東京都（木下フレンド東京）

首都圏において
全てのエリアで
行政より優良認定を
いただいております！

車両台数として
約200台を所有
多様なニーズに
お応えいたします

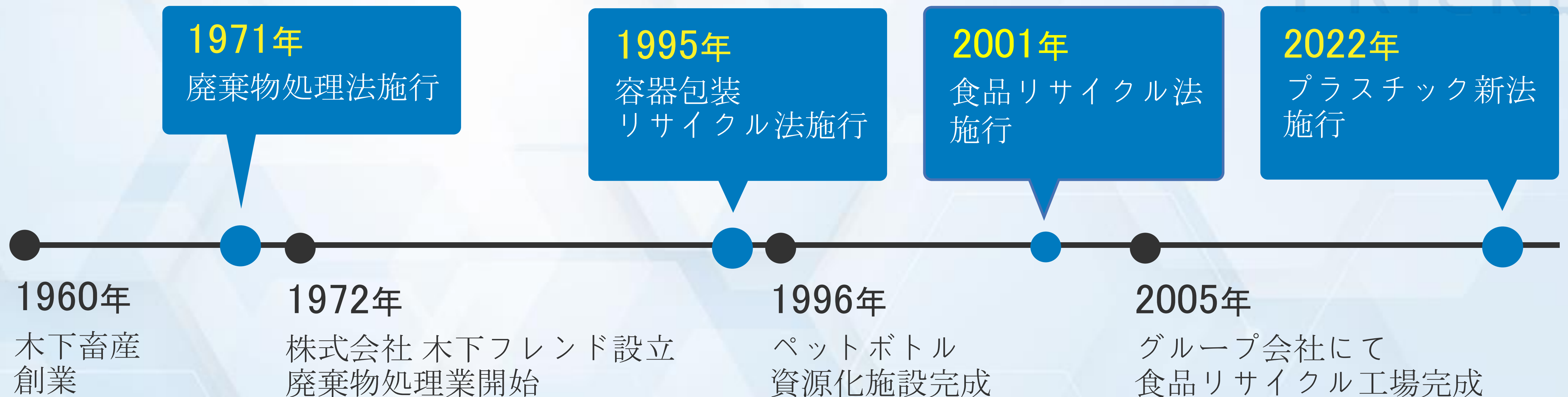




木下フレンズ 会社概要

時代のニーズに沿った事業展開

木下フレンズグループの沿革と廃掃法・リサイクル法変遷



木下フレンド所沢工場

月間約1,800トン混合廃棄物を再資源化へ



埼玉県知事指定



【実証実験】再資源化 ～ ボトル to ボトル ～ (1)

2022年8月 鉄道、飲料メーカー、中間処理が初の協働

東武鉄道(株) × キリンビバレッジ(株)

実証する3つのスキーム

- ① 鉄道路線内のごみ箱撤去後、自販機横のリサイクルボックスでの一括回収
- ② 一括回収後に中間処理 (選別)
- ③ 選別したペットボトルを再びペットボトルにリサイクル



【実証実験】再資源化 ~ ボトル to ボトル ~ (2)

回収・再原料化・商品化までの流れ



【実証実験】「資源循環の見える化」に参加

【実証実験の概要】

- 回収場所：ケーヨーデイツー所沢中富店 駐車場
(埼玉県所沢市中富南 1-1)
- 回収期間：2022年11月18日(金)～20日(日)
- 回収品目：プラスチック製の衣装ケース、収穫用コンテナ、
プリンター、洗面器、バケツなど

【企画・運営】

・大日本印刷株式会社

【「見える化」システム開発】

・株式会社 JEMS

▼2023年2月時点：実証実験の結果

回収したプラスチック資源につきましては、ボールペンへリサイクルされました！

結果等、リサイクルの具体的な数値につきましては、「埼玉県資源循環の見える化実証実験活動実績について」(以下のQRコード)よりご覧くださいませ。



green-recycle-project.com

【資源リサイクルの流れ】



「あすの資源を考えるコンソーシアム」結成

異業種連携で、リサイクルの入り口から収集運搬、再商品化まで
を伴走支援することが目的

2023年2月



SHUTOKEN



アートファクトリー玄 株式会社

「ゴミが資源として集まる」リサイクルボックス & ステーション、リサイクルスペースによる資源循環の高度化等、地域や社会を持続させる、公共性の高いもの・空間・地域づくりに、優れた技巧＝アートを駆使して取り組む課題解決型コンサルメーカーです。

～ もの・空間・地域づくり ～



東京都渋谷区神宮前五丁目2番8号 創業1973年2月 資本金1,000万円

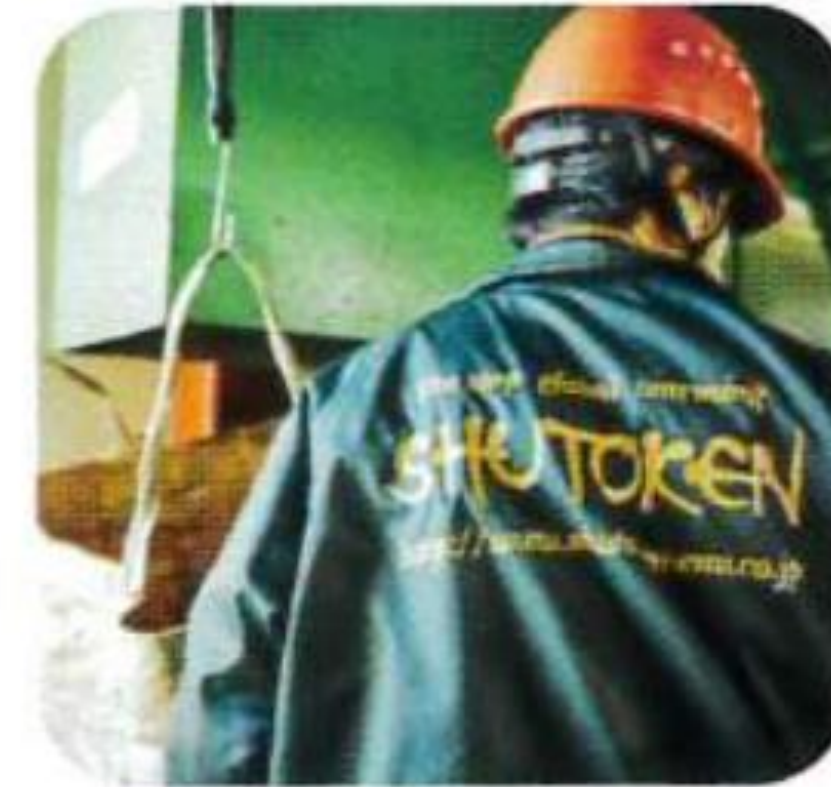
株式会社 首都圏環境美化センター

東京23区エリアを中心に、事業系廃棄物の収集運搬・中間処理を行っています。処理施設は2024年稼働予定を含め7か所。プラスチックや飲料容器、古紙など様々な品目の高度な中間処理を通じて「リサイクルは、地球サイズの思いやり」をテーマに廃棄物から資源へと命を吹き込み再稼働させています。

SHUTOKEN



収集運搬



中間処理



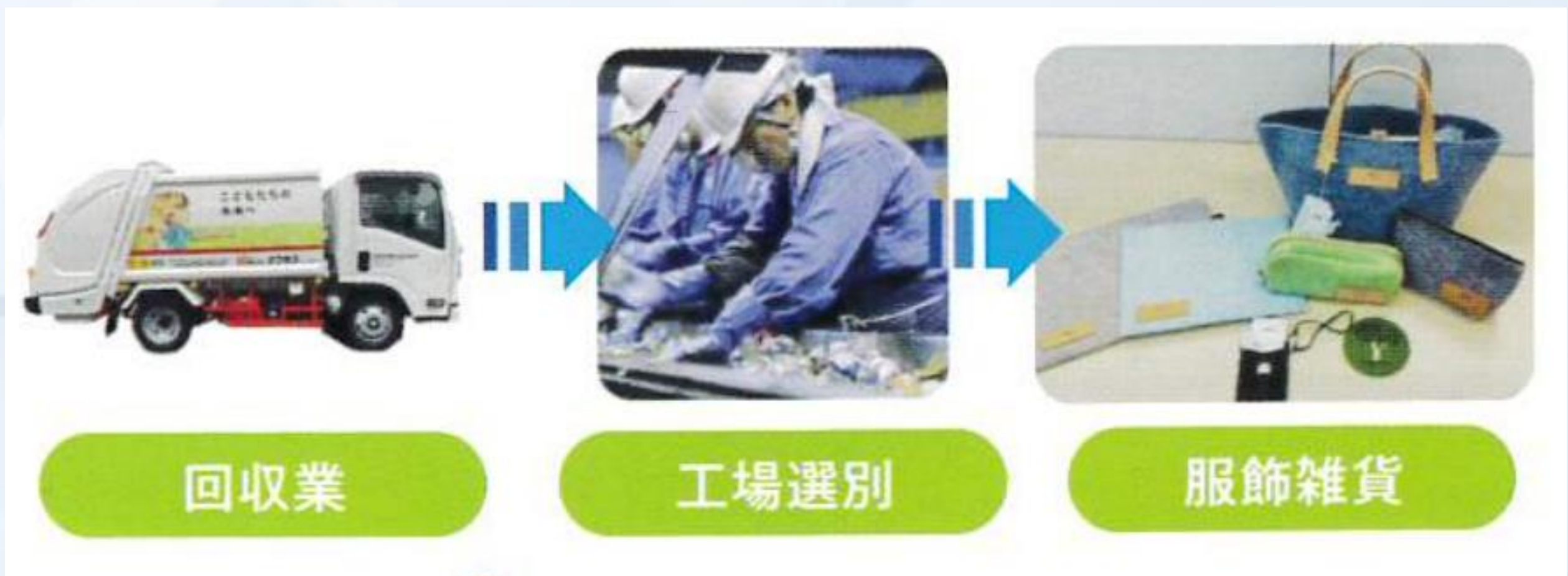
新中間処理施設

東京都足立区入谷9丁目21番19号 創業1994年7月 資本金1,000万円

株式会社 ベストプランニングシステム

関西エリアにて廃棄飲料容器を始めとする産業廃棄物の**収集運搬と中間処理**を行っています。「**ペットボトルキャップ**」の**回収を開始**、さらに**リサイクル素材を使用した服飾雑貨**など高付加価値商品の**開発、販売**に力を入れ「**資源の循環と笑顔の循環**」に取り組んでいます

～ 廃棄物からリサイクルして服飾雑貨を ～



京都府城陽市久世荒内160番地2 創業1974年4月 資本金1,000万円

コンソーシアムに期待できること

ASKとして社会へアピール

2023年5月24～26日

環境展

環境展へ初出展。入口の回収方法をリサイクルステーションなどに置き換えることを展示し、さらに使用済みプラスチック、ペットボトル、古紙や食品残さなどを高度な資源循環に変える持続的スキームを可視化して提案しました。



2023年9月14日

日経フォーラム

「資源循環で目指すカーボンニュートラル」と題する特別シンポジウムにて講演し、また、資源循環と経済合理性をテーマに、経済産業省と連携し、資源循環の未来についてパネルディスカッションを行いました。



講演



パネルディスカッション



コンソーシアムならではの角度からサーキュラーエコノミーの実現へ貢献



ご清聴いただき、
ありがとうございました。

株式会社

木下フレンド

西 snishi@k-friend.co.jp

